

第65回国体近畿ブロック大会

8月22日第65回国民体育大会近畿ブロック大会が綾部市総合運動公園弓道場で催された。猛暑の中、僅差の熱戦が展開されたが、よくこれを制して10月1日から千葉県匝瑳市で開催される本大会への出場をきめた。結果は次の通りでした。

種別	本大会出場府県名
成年男子	奈良県・大阪府・和歌山県・兵庫県
成年女子	大阪府・兵庫県・京都府
少年男子	大阪府・京都府
少年女子	奈良県・和歌山県



本大会出場を決めた選手の皆さん

お知らせ**大阪城杯弓道大会開催日変更**

9月26日(日)大阪城弓道場において開催予定の第6回大阪城杯弓道大会は次の通り変更になりました。

開催日 9月26日(日) 9月25日(土)
変更理由 不発爆弾処理の為

訃報

錬士五段 伊豆清香先生 (享年84・高津)
五段 池田和男氏 (享年95・高津)

伊豆先生7月23日・池田氏7月26日に急逝されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

「講習会」と「審査会場」について

中野会長

過日、中野会長と親しくお話をする機会に恵まれました。毎日放送に「亀友のちょっとカメヘン?」という番組のコーナーがあるのですが、私も乗っかって、「ちょっとかめヘン?」で会長に「講習会」と「審査会場」について質問をぶつけてみました。

Q. 段位別講習会・クラブ指導者講習会が新設され段位別講習会には多数の方が参加されていましたが最近では参加者が減ってきたとも聞きましたがどのようにお考えでしょうか?

A. 段位別講習会には多数の方が参加されましたが、段位によっては講習会で自分の悪い所を直してもらおうと思っている人が居るようです。講習会で学んだ事を各自の道場へ持ち帰り数稽古して自分の体で発見して、知った上で修正していく事が大事な事です。これが個人のスキルアップにつながるのです。

参加者が減っているのは参段クラスではないかと思えます。弓道では参段は弓を続けるか?何か別のものを見つけるか、分岐点に居る方々だといわれていますね……。難しい所です。いずれにしても大勢の参加を期待します。

Q. 「審査」についてですが、昨年の理事会・今年の「年頭所感」で審査会場を特定しないで開催可能な会場でおこないたいと仰ってましたが進んでいるのでしょうか?

A. 審査の開催場所を従来の道場に固定化するのではなく、広く体育館に併設された弓道場、例えば岸和田(完全屋内型)・吹田・枚方・豊中・八尾等で審査を実施出来ないか?と考えてます。これによって、審査を開催する道場の活性化にもなるのではないかと、そして何よりも審査に係わる事により、より多くの人材育成が可能になり、府連全体のレベルアップにつながるのではないかと考えています。

8月も終わります、相手が役所の施設になるので、もうアクションを起さないといけな時期になってます。各クラブの方々にもお骨折り願って各方面と相談の上是非実現したいと思ってます。皆さんの協力をお願いします。

平城遷都 1300 年祭に因み古代弓儀式再現

10月24日 710年、奈良の地に平城京が移されてから1300年目を迎えることを機に、「日本の歴史・文化が連綿と続いた事を祝い、感謝するとともに日本の始まり、奈良を素材に、過去・現在・未来の日本を考える」をテーマとして平城遷都1300年祭が実施されます。



奈良時代の装束

古代宮廷儀礼において、弓を用いて行われる儀式は、多くの儀式の中で特に重視されていました。平城遷都1300年祭では古式に則り「射礼」(じゃらい)と「騎射」(うまゆみ)を再現し、実施することになりました。「射礼」は歩射であり、「騎射」は馬上にて弓を引き射るものです。これ等は奈良時代宮廷儀式上最大規模の行事であり天皇ご覧のもと全ての官人が参加して行われたと言われています。

参加する官人は「朝服(ちょうふく)」もしくは「制服(せいふく)」という装束を着装して臨みました。(上記写真装束)この装束は朝廷公事の際に着装する衣装で位に応じて服の色が定められていました。24日は衛士・官人・弓人・舞人・楽人100名余の人々によって古式「射礼」が再現されます。

第61回全日本弓道遠的選手権大会
平成22年10月23日(土)・24日(日)
平城宮跡内 朝堂院地区特設会場

「射礼」

平成22年10月24日(日) 午前10:30~
平城宮跡内 大極殿院南門特設会場

「騎射」

平成22年10月31日(日) 午前10:30~
平城宮跡内 朝堂院地区特設会場

弓道場・クラブ紹介

《 住吉弓友会 》



堂本広明クラブ代表



射場から見た塚

住吉弓友会が日々修練の場としている住吉武道館は昭和56年に開館し、大阪府弓道連盟の先生を迎えて弓道教室を開講しました。その後利用者が増え、遠藤教士、菊川教士、田中錬士を初め当時の弓道教室の先生方のお力添えを頂き、昭和57年12月に住吉弓友会は発足しました。

ご存じの通り、住吉武道館は住吉大社境内にあります。住吉弓友会は、住吉大神さまに見守られながら、大阪府弓道連盟や大阪府下の各クラブ、そして兵庫県の故竹内範士とのご縁による芦屋市弓道協会の皆様のご指導・ご鞭撻を受け、維持発展をしてきました。現在会員数は約90名で、新年会、月例会、秋の合宿、納射会などを行っています。住吉弓友会員は若い会員が多く、会員同士は和気藹々と、弓道には真摯に取り組んでいます。

住吉大社は、1月13日に行われる御結鎮神事や5月1日の全国遠的大会など、弓道とは大変縁の深い神社です。住吉弓友会は発足以来、5月1日の全国遠的大会の準備・設営のお手伝いをしています。

所在地:〒558-0045 大阪市住吉区住吉2-9-89 住吉武道館内 :06-6678-2422 (住吉武道館)
アクセス: 南海本線「住吉大社駅」下車徒歩7分
南海高野線「住吉東」下車徒歩8分

駐車場: 有料駐車場有り。但し、武道館利用者は4時間30分まで無料(受付に申請が必要)
個人使用可能日: 下記の住吉弓友会HPで確認
使用料金: 9~13時、13~17時
17時~20時30分(は月・水~土のみ)

それぞれ別料金1回につき 最大530円

住吉弓友会への問い合わせ先:

info@sumiq.com

住吉弓友会HP: <http://www.sumiq.com/>